

## 8.2 NACCS へ新規に参加する場合の接続試験の準備等

接続試験に際し各利用者は自社サーバの準備のほか、ハードウェア及びソフトウェア等を準備する必要がある。表 8-2-1 に利用者が準備するハードウェア及びソフトウェア等を示す。

表 8-2-1 各利用者が準備するハードウェア及びソフトウェア等

ハード、ソフト等	説明事項
①NACCS 接続ルータ	利用者からの通信回線申込みを受けて、NACCS センターが手配し、準備する
②通信回線	利用者からの通信回線申込みを受けて、NACCS センターが手配し、準備する
③LAN ケーブル等	NACCS 接続ルータと自社システムを接続するため ○GW(SMTP/POP3 または SMTP 双方向) ..... LAN ケーブル等、利用者側にて ご準備いただく設備 10BASE-T/100BASE-TX
④NACCS センターping ポイントの IP アドレス (接続試験用含む) (注)	利用者からの利用申込みを受けて、NACCS センターが郵送またはメールにて通知する
⑤NACCS センターの DNS 機能の ping ポイントの IP アドレス (注)	
⑥NACCS センターの DNS 機能の IP アドレス	
⑦NACCS センター側サーバのドメイン名 (接続試験用含む)	
⑧利用者側メールアドレス (接続試験用含む) (注)	
⑨利用者コード、パスワード (接続試験用含む)	
⑩業務仕様書	NACCS センターのホームページに公開されているので、必要な業務仕様書をダウンロードして利用する
⑪接続試験の申込み	接続試験の実施にあたっては、事前に、利用者から接続試験の申込みを行う。当該申込みに基づき、NACCS センターで試験日程等各種調整を行う。試験実施に係る詳細事項については、上記各種調整の際に NACCS センターから通知する

(注) ドメイン名、メールアドレスは、利用者の利用する処理の違いによって、NACCS センターから各サーバに対応したドメイン名/メールアドレス (※) を通知する。

(※) なお、以下の処理方式を使用する利用者については、下記の情報が通知される。

### ○管理資料情報取出処理 (自社システム) 利用者

『ドメイン名 (接続試験用含む)』、『利用者側メールアドレス (接続試験用含む)』の代わりに、『センター側 URL (接続試験用含む)』を通知される。